

令和2年度 立川市立松中小学校 授業改善推進プラン 第6学年

	日常の学習の様子 ○成果 ●課題	目指す授業の改善計画
国語	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○文学や科学読み物などを好んで読み、本への関心は高い。友達同士で本の紹介などをする活動をさせるとすずんで取り組む児童が多い。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>●文章を自分の思いこみで読み取ったり、正確に読む力は全体的に弱いので、文脈をきちんと読み取る指導が必要である。</p> <p>●生活経験が不足している児童の語彙の数を増やし、読解力を身に付けさせていく必要がある。</p> <p>●文章の構造を理解し、要旨をとらえる技能を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>・漢字の小テストを行い、漢字の習得を目指すとともに、問題の中の熟語の意味も辞書で調べて理解させる。</p> <p>・読書活動を充実させ、辞書を使う活動を意識して多く取り入れて言語活動を工夫する。</p> <p>・読み取ったことを基に根拠をはっきりさせてまとめたり、説明したりさせる。</p>
社会	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○調べ学習に対する意欲は高く、資料から分かったことをノートにまとめ、発表する学習形態にすると進んで取り組ませることができる。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>●人々の願いや、歴史上の人物の業績に対する思いなどを心情的に理解し、まとめることはできるが、グラフなどの統計資料を複数比較して、そこから何が分かるかを考えることは苦手な児童が多いので、統計資料の読み取りを増やす必要がある。</p>	<p>・授業の中で統計資料を読み取る活動を各単元で意図的に配置する。また、歴史的事件のあった場所などを調べさせ、地図帳を活用する。</p>
算数	<p>【知識・技能】</p> <p>○かけ算、わり算などの計算は、身に付いている児童が多い。特に、今年度学習した分数に関係する問題は正答率が高い。</p> <p>●偶数と奇数や、面積や体積の問題など、5年生までの学習内容を忘れていた。既習事項を活用して問題を解く場面を増やし、学習内容を確実に習得させる必要がある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>●式が何を表しているかを説明することが苦手な児童が多いので、式の意味を常に考えさせながら指導を進める必要がある。</p>	<p>・既習事項を定期的に振り返り、復習する時間を朝の会などで計画する。</p> <p>・式や図、数直線などを使って考えを説明したり、筋道を立てて考えたことをノートに書かせる活動を増やす。</p> <p>・朝学習や授業の導入、家庭学習などで継続的に既習事項計算プリントや東京ベーシックドリルに取り組ませる。</p>
理科	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>●自然の現象を学習したことをもとに説明できるようにする必要がある。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○理科の基礎知識や基礎学力が定着するように指導方法を工夫する必要がある。</p> <p>○実験を通して学んだことを整理し、知識として習得させるための指導の工夫をする。</p>	<p>・実験や観察等で分かったことを文章でまとめる活動を徹底する。</p> <p>・実験等を行う際、安全面の配慮や、より多くの児童が活発に関わるようにする。</p> <p>・ノートの使い方を指導し、自分の予想や実験の結果・考察をノートにしっかりとまとめさせることで理解の定着を図る。</p>
外国語	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○覚えた単語で自己紹介をしたり、簡単な質問をお互いに行うことが好きな児童が多く、楽しく学習する雰囲気はある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>●決められた言葉を言うだけでなく、児童が自分で考えた内容で会話するように授業を計画する必要がある。</p>	<p>・児童が意欲的に外国語活動に取り組めるように、必ず発話しなければならない場の設定をし、相手との距離を意識しながら活動させる。</p> <p>・自分の思いや感想のやりとりができるよう、教室英語をさらに充実させるとともに、動作も付けさせて気持ちを伝えるようにさせる。</p>
音楽	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○曲を鑑賞して、曲想を感じ取ることができている。</p> <p>●感じ取った曲想を音楽の諸要素と結びつけて考え、表現に生かしたりするための語彙を増やしたり、具体的な技能を身に付けられるように指導の工夫をする必要がある。</p>	<p>・拡大楽譜や音楽用語をまとめた表を活用して、児童が意見の交流ができるようにする。</p> <p>・児童から出た表現の工夫を実践させて、曲想と技能を結びつけることで技能の定着を図る。</p>
図工	<p>【知識・技能】</p> <p>●既習事項を活用してより自分なりの工夫や課題設定をしていく力を育てていく必要がある。既習事項の定着に個人差が大きい。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>●具体の形や既存のキャラクター等での表現にこだわる様子が見られる。友達と違うことをすることへの不安感、新しい表現に躊躇する様子などもある。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりしようとしている。</p>	<p>・めあてを明確化し、手順や方法を分かりやすく提示する。</p> <p>・活動での既習事項の確認、資料の活用を行い、児童が表現方法や技術を選択できるようにする。</p> <p>・電動糸のこぎり、針金、絵の具などの基本的な扱いに慣れ、自分の表したいものが表せる喜びを味わわせていく。</p> <p>・「自分らしく」をキーワードに、自己を表現する喜びをもたせるよう、指導する。多様な表現のあり方を認め、自分自身の表現を追求させる。</p> <p>・机間指導を丁寧に行い、最後まで粘り強く課題に取り組む力を育てる。</p>
家庭	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○生活の改善に主体的に関わろうとする意欲をもたせることはできている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>●昨年手縫いやミシン縫いの技能を身に付けたはずだが、家庭で活用する機会がなく、時間がたつと忘れてしまう実態がある。身に付けた技能を家庭で生かしたくなるような活動の工夫が必要である。</p>	<p>・今年度は、マスク作りを「夏をすずしくさわやかに」の単元に取り入れ、暑さの中でも付けやすいマスクの素材を考えさせ、生活の中で使える物を製作させる。</p>
体育	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○児童が興味・関心・意欲をもって取り組むことができる指導方法を工夫する必要がある。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○児童が自分たちで考えながら個人や集団の運動技能を高められるような授業の工夫が必要である。</p>	<p>・友達と協力して活動する場面を多く設定し、学び合いにより個々の技能を高める。また、集団での活動時間を確保し、ねらいに沿った授業の展開をしていく。</p>